R-CHOP療法の投与スケジュール

	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
内服	プレドニン内服　60mg／m^2		■	■	■	■	■															

（※アプレピタントカプセルを服用する際には、ドキソルビシン投与1時間前に125mgカプセルを服用する。2日目、3日目は1日目に服用した時間と同じ位の時間に80mgカプセルを1カプセル服用する。）

		1	2
注射	生理食塩液100mL （ルートキープ）	■	
	ソル・メドロール　40mg ポララミン 5mg 生理食塩液　100mL 点滴静注　30分	■	
	リツキシマブ　375 mg/m2 生理食塩液　500mL 点滴静注 ◆初回 最初の30分は50mg／時 その後、30分毎に50mg／時ずつ上げて 最大400mg／時まで可能 ◆2回目以降 最初の30分は100mg／時 その後30分毎に100mg／時ずつ上げて 最大400mg／時まで可能	■	
	生理食塩液100mL （ルートフラッシュ）	■	
	生理食塩液100mL （ルートキープ）		■
	グラニセトロンバック3mg／100mL 点滴静注　30分		■
	ドキソルビシン　50 mg/m2 生理食塩液　100mL 点滴静注　30分		■
	オンコビン　1.4 mg/m^2 生理食塩液　50mL 点滴静注　15分		■
	エンドキサン　750 mg/m^2 5%ブドウ糖注　250mL 点滴静注　60分		■
	生理食塩液100mL （ルートフラッシュ）		■

リツキシマブ投与中の注意　infusion reaction　　患者の状態を把握し、バイタルや症状が問題ない場合に投与速度を上げること。

本剤の投与開始後30分～2時間よりあらわれるinfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害、心障害等の重篤な副作用が報告されているため、本剤投与中はバイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数等)のモニタリングや自他覚症状の観察を行うとともに、投与後も患者の状態を十分観察すること。特に以下の患者については発現頻度が高く、かつ重篤化しやすいので注意すること。

(1) 血液中に大量の腫瘍細胞がある(25,000／μL以上)など腫瘍量の多い患者
(2) 脾腫を伴う患者
(3) 心機能、肺機能障害を有する患者